

2014年に学士号以上の学位を保有する25歳以上の米国成人の割合、  
5年前から微増し全体の30%に（12月3日）

国勢調査局(Census Bureau)は12月3日、米国コミュニティ調査(American Community Survey)によるデータを発表した。この中で、2014年に25歳以上の米国成人が学士号以上の学位を保有する割合は30%で、2009年の28%から増加していることが明らかにされた。また、学士号を保有する女性の数が男性を初めて上回った。また、2005年～2009年の5年間と2010年～2014年の5年間を比較した結果、全米約3,100郡のうち1,000郡において学士号以上の学位保有者の割合が増加し、逆に減少したのは60郡のみであったという。この他、伝統的に男性就業者数が女性を圧倒的に上回る運輸・農業・鉱業などといった業界では、大卒学位を保有しない男性も、比較的給与の良い職に就いている一方、伝統的に女性の就業者数が多い看護などといった業界では、4年制大学卒業学位を必要とする例が増加していることも明らかにされた。

なお、本データは、<<https://www.census.gov/programs-surveys/acs/>>から閲覧可能。

Marketplace, *Percentage of adults with degrees increases*

<http://www.marketplace.org/2015/12/03/education/percentage-adults-degrees-increases>